



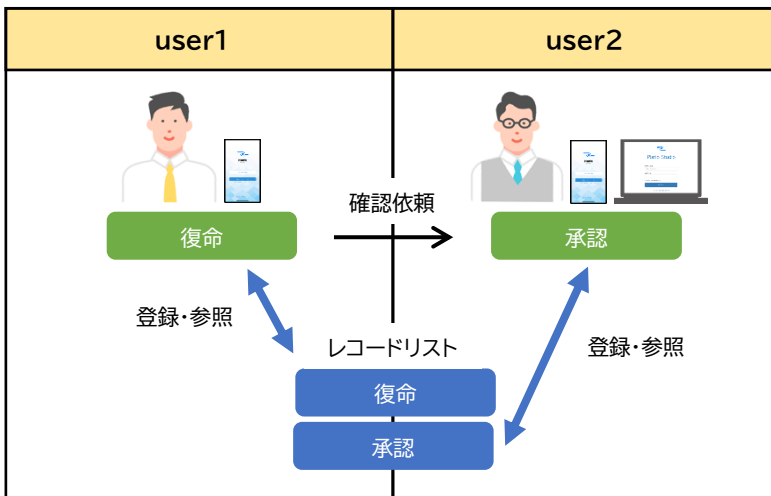
復命書

自治体職員が命令された業務を完了した際に復命するためのテンプレートです。

出張、現地調査、研修、会議への出席といった業務を執行した際に、モバイル端末から簡単に復命（報告）できます。必要に応じて写真（手描き可）を添付することで情報の伝達をスムーズにします。管理者は、情報を確認して承認を行います。

利用の流れ

- ① 職員（user1ユーザー）は[復命]データポケットに必要事項を記入、必要に応じて現場写真を撮影し、手書きのメモを追加して保存します。
- ② 管理者（user2ユーザー）は[承認]データポケットで報告内容を確認し、承認します。登録された結果をデータビューアーでCSVまたはExcel形式でエクスポートして参照します。エクスポート時に登録した画像を含めてダウンロードすることができます。



データポケット

名前	種類	利用するユーザー
復命	主	user1
承認	副(復命)	user2

ユーザー/プロファイル

名前	管理者	プロファイル	プロファイルで利用できるデータポケット
user2	✓	管理者	承認
user1		職員	復命

【テンプレートの特長キーワード】

手描き画像 副データポケット

ミニアプリ概要

◆ 復命データポケット [主]

職員が必要事項を入力して保存します。

フィールド	型: [プロパティ]別データポケット参照先	[プロパティ] 同データポケット参照先
報告者	ユーザー	
日付(復命日)	日付	
開始時間	時間	
終了時間	時間	
業務種別	テキスト選択	
用務件名	テキスト	
同行者・同席者	複数行テキスト	
写真	手描き画像	
写真2	画像(小)	
写真3	画像(小)	
写真	手描き画像	
訪問先	地図(位置)	
班長確認済	スイッチ	
班長コメント	テキスト	
課長確認済	スイッチ	
課長コメント	テキスト	
プッシュ通知	プッシュ通知	

◆ 承認データポケット [副]

[復命]データポケットの副データポケットです。
管理者が報告内容を閲覧します。

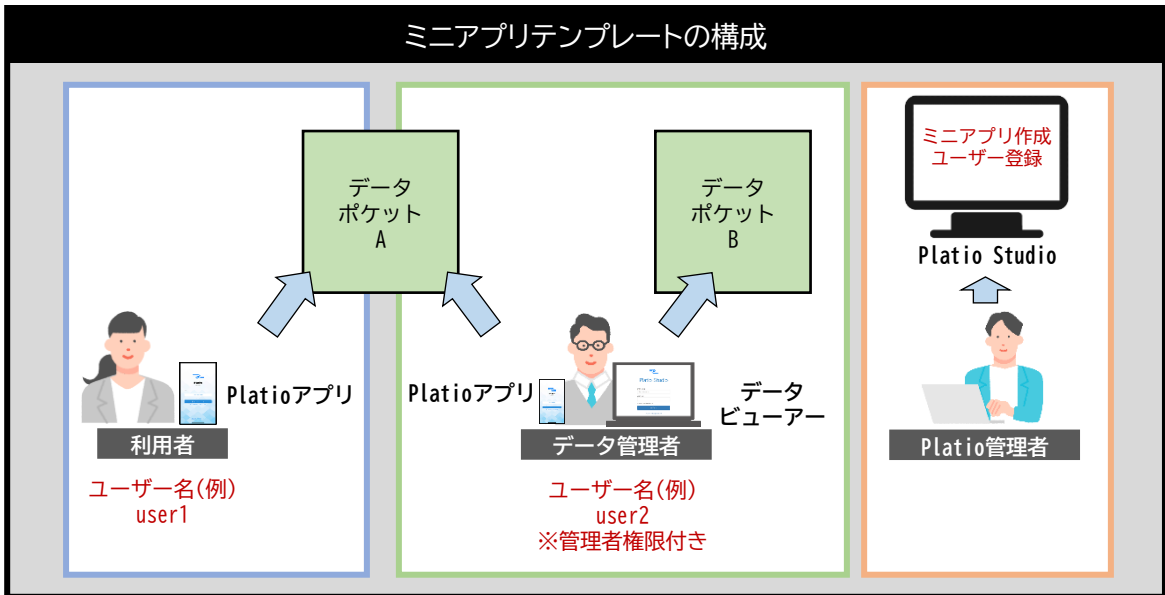
操作手順

利用の流れ

- ① [事前準備] **Platio管理者**が、**Platio Studio**にアクセスしてミニアプリを作成してデータポケットを使用するユーザーアカウントを登録します。
- ② **データ管理者**は、PCのWebブラウザから**データビューアー**にアクセスしてデータポケットのレコードを管理できます。
- ③ **利用者**は、**Platioアプリ**からミニアプリにログインして データポケットにデータを作成・編集します。

ユーザーは、データビューアーとPlatioアプリへログインできます。(データビューアーへのログインを許可しないようにすることもできます。)

ミニアプリテンプレートの構成



ここでは、「勤怠連絡」テンプレートを例にミニアプリの作成からPlatioアプリユーザーへの配布までをご説明します。

Platioの無料トライアルの申込み、利用の流れについては「[スタートアップガイド](#)」をお読みください。

Platio管理者が、Platio Studioでミニアプリを作成します。



● Platio Studioへログイン

<https://studio.platio.io/>

ログイン後の画面で、右上の「ミニアプリを作成」をクリックして進めます。

※ アカウント情報はトライアル申込み時に送られてきたメールをご確認ください。

ミニアプリの作成



● ミニアプリを作成

ミニアプリを作成するウィザードで、ミニアプリテンプレートを選択します。

右下の「テンプレートを選択」をクリックし、表示されたミニアプリの作成画面でミニアプリの名前を任意に編集して、ミニアプリを作成します。

ミニアプリの作成



● サンプルのユーザーを追加

ユーザーをそのまま使う場合はユーザーの名前とパスワードをメモしておきます。

ここで作成するユーザーはサンプルとして動作確認に使用します。モバイルアプリの動作確認の後、引き続き使うこともできますし、削除して新規にユーザーを追加することもできます。

ここでユーザーを追加すると、登録したメールアドレスに招待メールが届きます。届いたメールは保存しておいてください。なお、招待メールの送信を中止することはできません。

ミニアプリの作成



● ミニアプリの作成を完了

「完了」をクリックすると、作成したミニアプリのデータポケット一覧が表示されます。

※ ミニアプリを作成・編集して利用可能な状態にすることを「配布」といいます。

これで、ミニアプリを作成・配布し、アプリユーザーの登録が完了しました。



データポケット一覧

クリックしてデータポケット一覧へ



ユーザー一覧

● ユーザーを確認

データポケット一覧で右メニューの「ユーザー」をクリックしてユーザーを確認します。

端末のPlatioアプリへログインするユーザーの一覧です。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。



データポケット一覧

クリックしてデータポケット一覧へ



プロフィール一覧

● プロファイルを確認

「プロフィール」をクリックしてプロフィールを確認します。

各プロフィールが設定されたユーザーが利用可能なデータポケットを確認できます。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。



クリックしてデータポケット編集画面へ

● データポケットを確認

データポケット名をクリックして、データポケットのレコード内容(各フィールド)を確認します。



クリックしてデータポケット一覧へ

フィールド

シーン

上部で、データポケットの各フィールドを確認します。

下部で、Platioアプリで表示されるシーン(画面)をプレビューでき、シーンの各種設定を行います。

以上で、ミニアプリの確認は完了です。

次は、データビューアーへログインする手順を説明します。

データビューアーは、データポケットのレコード管理をPCのWebブラウザから行うツールです。

データビューアーへは、主に管理者のユーザーでログインします。

【Platio Studio】



Platio Studioの「データビューアー」のリンクからミニアプリのデータビューアーへアクセスし、ログイン画面からログインします。

PCのメールソフトで招待メールを受信して、本文のリンクからもアクセスできます。

【データビューアー】



ブラウザの新しいタブにデータビューアーのログイン画面が表示されます。ユーザー情報を入力してログインします。

※ Platio Studioユーザーではなく、Platioアプリのユーザーでログインします。



データポケット一覧でデータポケット名をクリックします。



データポケットのレコード一覧画面が表示されます。右上の「作成」または「インポート」からデータを登録できます。

※ インポートではあらかじめCSVの形式でファイルから登録することができます。



「インポート」をクリックして表示されたレコードのインポート画面で、インポートできるCSVの形式が確認できます。

以上で、データビューアーの確認は完了です。

次は、Platioアプリを使う手順を説明します。



サンプルユーザーでアプリを使ってみましょう

利用する端末に**Platioアプリ**をインストールしてください。
インストールについては「[スタートアップガイド](#)」をお読みください。

サンプルユーザーでPlatioアプリを使ってみましょう。
ユーザー情報はPlatio Studioのメニュー「ユーザー」で確認できます。



メール画面

ユーザーを追加したときに指定したメールアドレスに招待メールが送信されています。
届いた招待メールの本文にあるミニアプリのQRコードを**Platioアプリ**で読み取ります。

端末のPlatioアプリを起動して「QRコードをスキャン」をタップしてQRコードを読み取ります。

または、以下のように**Platio Studio**のサイドメニューのアプリリンクからもQRコードを表示できます。



メール画面

Platioアプリ

Platioアプリと同じ端末でメールを表示した場合、ミニアプリ名のリンクをタップするとPlatioアプリが起動してミニアプリのログイン画面が表示されます。

Platioアプリでミニアプリのログイン画面が表示されます。

ユーザー情報を入力してログインします。

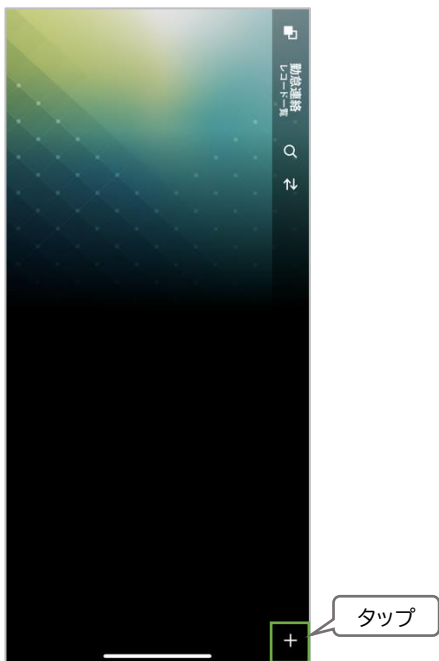


Platioアプリ <各種シーンと操作>

Platioアプリにログインすると、Platio Studioで指定された最初のシーンが表示されます。表示されるシーンは、ミニアプリごとに異なりますが、入力シーンまたは一覧シーンが表示されます。

● 一覧シーン

何も表示されない場合は、登録されたレコードが無い状態です。レコードを入力するには、右下の「+」をタップします。



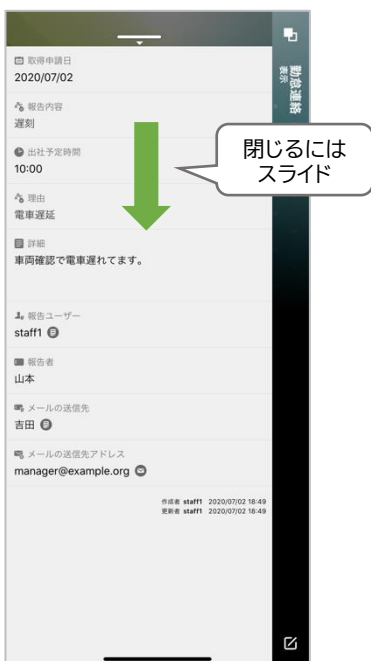
● 入力シーン

データを入力する各フィールドが表示されています。入力したデータを保存するには、右下の「✓」をタップします。



● シーンを閉じる(前に戻る)

シーンを閉じるには、タップしながら上から下にスライドします。



● 入力をキャンセルする

シーンを閉じるには、上から下にスライドして表示された「×」をタップします。





Platioアプリ <一覧シーンで検索・並び替え>



- 一覧から検索
検索アイコンをタップします。
検索ワードを入力するか、またはタップして表示される定義された検索条件をタップすると、検索した結果の項目が表示されます。

※ Platio Studioで検索可能と設定したフィールドが検索できます。



- 一覧を並び替え(ソート)
ソートアイコンをタップします。

並び替えできる項目が表示されます。昇順・降順のアイコンをタップすると、並び替えて表示されます。

※ Platio Studioでソート可能と設定したフィールドが検索できます。

データポケットやミニアプリの設定を変更したい

データポケットにフィールドを追加したりPlatioアプリでの見た目を変更したり、ミニアプリに機能を追加したり、ミニアプリを編集することができます。

初めてPlatioを操作するときは「[Platioスタートアップガイド](#)」をお読みください。

◆ Platioスタートアップガイド

はじめてPlatioをお使いになる方向けの、Platioの概要とPlatioを使いながら全体の流れを説明するガイドです。

[Platioヘルプセンター]の「はじめての方へ」をクリックして「①Platioって?」からご覧いただけます。

<https://help.plat.io/hc/ja>

◆ ノーコードツール学習サイト「NoCode Gate」

Platioの操作を動画で学べます。

<https://nocodegate.asteria.com/>

Platioに関するお問い合わせ:[お客様ログイン]からお問合せフォームにてお問合せください。

<https://asteria.com/mng/login>

Platioのお役立ち情報、ご利用ガイド、よくあるご質問:[Platioヘルプセンター]

<https://help.plat.io/hc/ja>

Platioに関する情報(事例、リリース情報など):[製品サイト]

<https://plat.io>